

議題 1 ①について

- モデルナ製ワクチンの供給については、別添のとおり河野大臣からご答弁しており、これ以上の詳細について、お答えすることは差し控えます。

令和3年7月14日 衆議院 内閣委員会 河野国務大臣答弁（抄）

○河野国務大臣

様々御迷惑をかけていることを反省するのは、これは当然のことですが、そもそも四月の時点で、モデルナから供給できないという話がございました。供給しろと突っ張ることができたかもしれませんが、供給できないものを供給しろと言っても恐らく供給は不可能だったんだと思います。

四月の頃を振り返ってみると、私の最大の任務は、とにかくファイザーをE.U.の透明化メカニズムにひっかからないように確実に入れるというのが私の当時の最大の使命でございました。モデルナの四千万回が仮に入ってきて、まだ承認もされていないもののワクチンの積み上がりがそれだけあるということになれば、恐らく透明化メカニズムにはひっかかったんだろうと思います。ですから、モデルナが第二・四半期の供給ができないというときに、私は、第三・四半期で確実に五千万入れてくれるんだったら供給減を認めるという判断をいたしました。